

令和 8 年度
博士課程前期課程
入学試験(第 I 期)
専門科目標準的
参考文献

神戸大学大学院
経営学研究科

A：経営組織・経営戦略

- (1) Daft, R. L. (2001) *Essentials of Organization Theory and Design* (2nd ed.), South Western College Publishing (高木晴夫訳『組織の経営学』ダイヤモンド社, 2002 年).
- (2) Franco Amatori and Andrea Colli, *Business History: Complexities and Comparisons*, Routledge, 2011 (西村成弘・伊藤健市訳『ビジネス・ヒストリー グローバル企業誕生への道程』ミネルヴァ書房, 2014 年).
- (3) 菊澤研宗・橋本倫明・姜理恵訳 (2019) 『D. J. ティース ダイナミック・ケイパビリティの企業理論』中央経済社.

B：組織行動・人的資源管理

- (1) Robbins, S. P. (2005) *Essentials of Organizational Behavior*, 8th Edition, Pearson Education (高木晴夫訳『新版 組織行動のマネジメント—入門から実践へ—』ダイヤモンド社, 2009 年).
- (2) Bratton, J. and Gold, J. (2003) *Human Resource Management: Theory and Practice* (3rd ed.), Palgrave Macmillan (上林憲雄ほか訳『人的資源管理 —理論と実践—』文眞堂, 2009 年).
- (3) 上林憲雄編著 (2016)『人的資源管理(ベーシック+)』中央経済社.

C：経営数学・統計

経営数学

線型代数学と微分・積分・解析学の基礎的知識を問います。代表的な参考書には次があります。

- (1) 入谷純・加茂知幸 (2016)『経済数学』東洋経済新報社.
- (2) 岡田章 (2001)『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社.
- (3) 多鹿智哉 (2023) 『読んで理解する経済数学』新世社.

(著者サポートページ : <https://tomoyatajika.notion.site/3bcb30a28d2d425c9591de80c5f42820>)

統計

久保川達也, 国友直人 (2016)『統計学』東京大学出版会 14 章を除く

D：財務会計

- (1) 神戸大学会計学研究室 (2025)『会計学基礎論(第7版)』同文館出版.(第7章, 第10章を除く)
- (2) 中野常男 (2000)『複式簿記会計原理(第2版)』中央経済社.(第1章～第9章, 第22章)
- (3) 桜井久勝 (2025)『財務会計講義(第26版)』中央経済社.

E：管理会計

- (1) Horngren's Cost Accounting: A Managerial Emphasis 17th Edition Global Edition / Srikant M. Datar, Madhav Rajan : Pearson ,2020 ,ISBN:129236307X
- (2) 谷武幸 (2013)『エッセンシャル管理会計(第3版)』中央経済社.(ISBN-10: 4502085901)
- (3) 谷武幸 (2012)『エッセンシャル原価計算』中央経済社.(ISBN-10: 4502450006)

F：マーケティング

- (1) Kotler, P., Keller, K. L. and Chernev, A. (2022) *Marketing Management* (16th ed.), Pearson Education (恩蔵直人監訳『コトラー&ケラー&チェルネフ マーケティング・マネジメント [原書16版]』丸善出版, 2022年).
- (2) 石井淳蔵・嶋口充輝・余田拓郎・栗木契 (2004)『ゼミナール マーケティング入門』日本経済新聞社.
- (3) 池尾恭一・青木幸弘・南 知恵子・井上哲浩 (2010)『New Liberal Arts Series マーケティング』有斐閣.

G：流通

- (1) 田村正紀 (2002)『流通原理』千倉書房.
- (2) 矢作敏行 (1996)『現代流通』有斐閣.
- (3) 高嶋克義 (2012)『現代商業学[新版]』有斐閣.

H：ファイナンス

ファイナンスの基礎は、証券投資論(インベストメント)、企業財務論(コーポレートファイナンス)、金融市場論(ファイナンス・システム)から構成されます。出題範囲については、以下の代表的な文献の指定された章を参照してください。

- (1) 小林孝雄・芹田敏夫 (2009)『新・証券投資論 I 理論篇』日本経済新聞社, 第1章～4章, 第8章.
- (2) Berk, Jonathan, and DeMarzo, Peter (2014) *Corporate Finance (3th Edition)*, Pearson, Chapter 3~16 (久保田敬一・芹田敏夫・竹原均・徳永俊史訳『コーポレートファイナンス入門編・応用編(第2版)』丸善出版, 2014年, 第3章～第17章)
- (3) 内田浩史 (2024)『金融 新版』有斐閣, 第1章～第10章.

I：交通

- (1) 山内弘隆・竹内健蔵 (2002)『交通経済学』有斐閣.
- (2) 正司健一 (2001)『都市公共交通政策』千倉書房.
- (3) 村上英樹ほか編 (2006)『航空の経済学』ミネルヴァ書房.
- (4) 宮下國生 (2011)『日本経済のロジスティクス革新力』千倉書房.

J：経済学

ミクロ経済学の基礎をきちんと学び、モデルを用いて経済学を理解・運用できるようにしてください。代表的な参考書には次があります。

- (1) 奥野正寛 (2008)『ミクロ経済学』東京大学出版会.
- (2) Varian, H. R. (2014) *Intermediate Microeconomics: A Modern Approach* (9th ed.), W.W.Norton (佐藤隆三訳『入門ミクロ経済学 [原著 第9版]』勁草書房, 2015年).